



5月25日、市と三重大学が相互に連携・協力して地域の水産業などの活性化、学生の教育および地域人材育成を視野に入れた活動を行っていくために「鳥羽海洋教育研究センター設置に関する覚書」を締結しました。

覚書では、市と三重大学の連携により、三重の特性を活かした水産・海洋学教育研究の実施や、地域水産業などの活性化を通じた地域振興の推進を目指すものとなっています。

### 鳥羽海洋教育研究センター設置に関する覚書の調印式



6月11日、鳥羽市初のオリンピック選手であるフェンシング・エペ日本代表の山田優選手が市長室を訪れました。

山田選手は「地元の支えがあったからこそそのオリンピックの出場権だと思う。一緒に楽しんでもらう気持ちでみてもらいたい」と話してくれました。中村市長は「小さいころから知っている山田選手がオリンピックに出場するのは感慨深い。鳥羽の子どもたちに夢を与えてくれてありがとう」と感謝を述べました。

### 山田優選手が来庁！



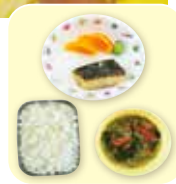
令和元年12月に、安楽島町出身の傍島夏生さんにいただいたササユリの球根が花を咲かせました。神島保育所の子どもたちが毎日水をやり、大切に育てました。

6月7日、咲いたササユリを町の人や、観光客のかたに見てもらうため、町のかたがたに手伝っていただき、プランターを保育所から港へ移動させました。子どもたちは、一生懸命育てて咲いた花を、たくさんの人に見てもらえることを楽しみにしています。

### 神島保育所のササユリが咲きました



市内の保育所で6月15日～17日に、鳥羽や県産の食材を使用した給食を実施しました。



給食を食べる前には、保育士から話を聞き、食材について学びました。15日に鳥羽産黒鯛を食べた子どもたちは、「黒鯛ってチヌって名前もあるんやよ!」「身がプリプリしておいしい!」とうれしそうに感想を話してくれました。

#### 【とばっ子給食の献立】

- 15日：黒鯛のムニエル(鳥羽産黒鯛使用)
- 16日：ジャージャーうどん、ひじきのふりかけ(鳥羽産ひじき使用)
- 17日：度会茶のかき揚げ(度会町産お茶使用)

### 市内保育所でとばっ子給食！